

自己評価結果等報告書

令和 7 年 2 月 26 日

1 事業所情報

事業所の名称	放課後等デイサービス事業所 みらくる				
事業所番号	4650003504				
事業の種別	<input type="checkbox"/>	児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/>	放課後等デイサービス	
	<input type="checkbox"/>	保育所等訪問支援			
所在地	鹿児島県薩摩郡さつま町宮之城屋地2056-1				

2 公表状況

公表日	令和	7 年	2 月	26 日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	(URL	http://hiiragikai.net/)
	<input type="checkbox"/>	会報等	()
	<input type="checkbox"/>	その他	()

3 自己評価事務担当者情報

担当者名	久保 秀和				
連絡先 (TEL)	0996-53-3900				

※公表している自己評価表を添付すること。

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所 みらくる		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 14日	～	R7年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	R7年 1月 15日	～	R7年 1月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 15日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節に応じた活動実施したり、多くの体験ができるように公共施設の見学や地域でのイベント参加など多くの体験が出来るようにしています。	児童の特性に合わせて、無理なく体験ができるように工夫しながら支援している。	地域との交流や行事参加を行うことで、事業所理解を深めるとともに、児童が地域で生活しやすい環境づくりに努めていきたいと思っています。
2	法人が施設入所施設、就労支援施設、共同生活支援し悦があるため、生活の場の確保やスムーズな移行を行うことができる。	中学生から、施設での日中一時などの利用をすることで成人の方々の交流などを持つ機会や就労体験なども実施できるようにしている。	色々な関係機関と連携しながら、利用者の方々多くの体験ができる場の提供をしていきたいと考えています。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	定員に対して、登録児童が多く利用の調整を行っている。	定員数が少なく、環境整備が難しい事、人員確保が難しいなどの要因が考えられます。	低学年の利用を増やせるようにいき、放デイで落ち着いて過ごせるようになれば、地域の学童利用も出来るように連携していきたいと考えています。中学部、高等部の児童に関しては、放デイだけの利用ではなく多くの期間を利用できるように支援していきたいと思っています。
2	地域の支援学級の児童の利用に対する送迎等が難しい。	車両確保や人員確保が難しい事と送迎距離が長くなることなどが考えられる。	事業所内だけの解決が難しい部分もあり、法人・行政・地域の方々と協力して、安全で安心した送迎が実現できるような取組が必要であると思います。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数		
放課後等デイサービス事業所 みらくる		令和7年2月26日				29	20	
	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	0	0	・のびのび遊べているので ・外遊び場、室内ホール、雨天時の遊び場、更衣室等と別れていて広さもあるため	安全に過ごすことができるように、環境整備や点検等を実施しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	4	0	1	・子どもとよく関わりを持ってもらえてると思います ・なかなか自分が中の様子を見るのがない為。	重要事項説明時に、職員配置などしっかりと伝えられるようにしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	0	0	1	・外から見てもわかりやすい ・子どもに聞いたところ、問題がなさそうの為	一人一人に特性に合わせた環境作りができるように努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	0	0	0	・いつもキレイです	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	1	0	2	・楽しい事も乱れた時も良くしてもらってます ・楽しく過ごしている様子であるため	事業所内での解決が難しいときには、専門機関と協力して支援ができるように努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	1	・いつも細かく計画してくださり感謝	一人一人の状況に合わせた支援ができるように努めます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	1	・個別支援をしてもらってます	アセスメントやニーズ把握を行い、ここに合わせた個別支援計画を作成し確実に説明を行えるように努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	0	2		全体的な状況把握を行い、優先順位を検討しながら支援内容を設定できるように努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	1	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	16	1	0	3	・色々な活動をしてもらってると感じ	プログラムの種類を増やしたり、季節に応じた計画を実施していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	3	6		地域の子供たちとの子関ができるように努めます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	18	1	1	0	・契約時に話があった	重要事項の説明の際に、わかりやすく説明ができるように努めます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	0	2	0	・今回は保護者で見るスタイルでしたのでまだ見れてなくてすみません	計画を提示して説明できるように努めます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	3	2	5		家庭支援プログラムなどの情報提供ができるようにしていきます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	16	3	1	0	・何かあれば教えてくれるし、こちらも言いやすい ・送迎の時に様子を教えてもらえるのでありがたいです	日々の様子をしっかりと報告・連絡を行い、保護者の方々とコミュニケーションを取りながら支援が出来るように努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	5	0	0	・その都度話をきいてもらっている ・送迎時に相談させて頂いてます	保護者の方々と、相談しやすい環境作りに努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	3	0	1	・職員の方によるのかなあと感じます	職員間でも情報を共有しながら、保護者の方々と良好な対人関係が気づけるように努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4	2	5	・参加しておりません	みらくるだけの行事ではなく、法人行事等にも参加していただき、保護者同士の交流が図れるようにしていきたいと思えます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	0	1	・子どもが不安な事があった時にすぐに対応してもらいました	相談窓口を明確化させ、迅速に対応できるように努めます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	3	1	0		安心安全メールなどを活用して
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	0	0	2		安心安全メールなどを活用して、活動内容の報告をしており、評価についてもホームページに掲載しています。
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	2		契約時に、個人情報取り扱いについて同意をいただいております。	

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	3		マニュアルを作成しており、随時見直し出来るように努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14	1	0	5		避難訓練や不審者対応などの訓練は定期的に実施しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16	0	0	4		ヒヤリハットの利用などを行い安全面に配慮できるようにしています。施設内の安全点検も毎月実施しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	1	0	3		怪我や体調不良時など、迅速に対応しています。報告書の作成も実施しています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19	0	0	1	・毎回楽しみに行ってます。	落ち着いて過ごせる環境づくりに努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	0	0	・ミラクルに行きたいと良く言っている ・帰りたくないくらい楽しいみたいです	
	29	事業所の支援に満足していますか。	18	2	0	0	・子どもの小さな困りごとにも対応してもらい助かっています ・時々連絡がなかったり、何かあった時の状況の説明がなく、わからないことがあります ・先生方が小学校の時から変わらず自己研鑽されながら支援してくださっているので安心して利用しています。 今後子ども達が安心して支援が続くよう先生方も安心して働き続ける職場体制であるとよいと思います。	安心して楽しく過ごせる環境づくりに努め、児童の状況に合わせた支援と家族支援ができるタイセイを整えていきたいと思えます。また、関係機関との連携をしながら専門的な支援も出来るように努めます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等ディサービス事業所 みらくる			公表日	令和7年2月26日
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分な広さがある。(室内・屋外と自由に使えるスペースは確保している)	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		登録して下さっている方が多く、人数を制限させていただき、支援のできる適切な人数にしている。	利用希望党も多くなってきているが、出来る範囲で利用ができるように調整している。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		食事と遊ぶ場所は分かれており、イラストや文字を使って場所をお示ししている。	今後は、車椅子の方が更衣をする際に、困りが出てくる可能性があります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			毎日、トイレ掃除と室内の消毒、室内外の清掃を行なっている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			1人になれる空間を設けているが、完全個室ではない。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		打ち合わせなどを活用して、情報を共有している。児童の様子を職員同士で共有し振り返りを行なっている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向けの評価表を職員で確認し、改善に繋げている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		打ち合わせの時間や顔を合わせるタイミングで、話を行い、情報の共有や支援方法の相談を行っている。定例会で話し合いを行なっている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		みらくる独自ではないが、ひいらぎ会全体で行っている。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		強度行動障害の研修を始めとする各種研修に参加している。法人等の研修にも参加している。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか。	○		契約の際に保護者の方とお話をして、子供の様子や保護者の意見を参考にしながら、計画の作成を行っている。	好きな事や遊びなど確認を行なっている。支援に対する保護者ニーズも確認している。
	13 放課後等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		担当者会議などで、色々な意見があり、職員で検討を行っている。今だけを考えるのではなく、将来の事も考えて検討している。	
	14 放課後等ディサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントは、必要な情報を聞き取りし、日頃の動きなどを確認しながら支援を行っています。	日々の行動については記録により確認している。フォーマルアセスメントで適応行動の状況を確認していない。
	16 放課後等ディサービス計画には、放課後等ディサービスガイドラインの「放課後等ディサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			必要な情報は記入し、必要があれば対応も行っている。本人、家族、移行支援についてはできているが、地域についてはできていない。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		児童の状態や組み合わせに合わせた、活動を検討しながら支援や活動を行っている。制作活動が集団では難しい為に、個人で行い、体験活動など集団でできるものは集団で行なっている。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		日課設定や制作に入る等決められていると思う。臨機応変に分出来ていると思う。必要なのは、伝えることや、ホワイトボードを活用して、引き継ぎを行っている。	兼務の職員もおり、毎回はできていない。必ずではない。利用児童に応じて支援内容の確認、職員の配置を決める事はしている
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎回ではないが、その日や次の日、次回の打ち合わせの時に情報共有と、支援の検討を行っている。	定期的に職員間での共通理解ができるように努めます。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等ディサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		○		
	24 放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	○		遊びを選択するなど、今後もたくさんの中から選べるように、作っていく。小さな事でも選択できるように、おやつを2つご用意して1つを選んで貰うなど練習している。	

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要な所との連携はあるが、医療的な支援の体制は細かい決まりがあるわけではないので、必要に応じて相談支援専門員とお話して連携をとっている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		時間割の確認や、学校での状況などは引き継ぎをおこなっている。行事予定表をいただいたり、分からない場合にお電話したりしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		分からない場合はお電話している。相談支援専門員を介して行っている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		相談支援専門員を介して行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		現在は対象の方はいらっしゃらないが、以前療育等支援事業を利用した事がある。	専門機関との連携を図り、専門的な支援ができるようにしたいと思います。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		代表者が出席しているので、意見を出している。会議後に情報共有を行っている。	多くの機関と交流が持てる機会を増やせるように努めていきたいと思っています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			代表者の出席になっているので、情報共有ができるように努めます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日頃の状況を伝え、共通理解をしている。	保護者との日頃から良好な関係性が気づけるように努めます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		帰宅時の引き継ぎ等行っていると思う。お迎えに来られた時などに情報提供をしたり、いただいたりしている。	情報提供を行っていない。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		児童に話を聞くことを日頃からしている。ご家族の意向はあるが、児童の意向は確認できていない。	児童の状況を保護者と共有して、状況に合わせた支援ができるように努めます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画の説明を行い、同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		その都度お話を伺い面談を行っている。	お話をされることはあるが、面談や助言などはしていない。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		保護者同士の交流の場となるように、保護者会やみらくる交流会などを開催している。保護者の行う活動に参加している。	兄弟同士の交流は行っていない。保護者との交流ができる機会を作れるように努めます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談・苦情解決の窓口があり、体制はできている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		2ヶ月に1回、おたよりの発行や、行事や日頃の様子など、写真の貼り出しを行いお知らせしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		ご様子を確認しながら、どのような方法が適切かを見極めて対応している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人の行事として秋祭り等行っている。高齢者の方々に音楽披露の場として提供も行った。	事業所見学などを計画したり、地域に開放できるように努めます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		不審者訓練、避難訓練など行っている。また、消防署や警察署の見学等も行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		避難訓練等行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			必要に応じて確認している。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			「いいえ」の回答は対象者がいない為 アセスメントで食物アレルギーを確実に把握できるように努めます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		室内・屋外共に月1回の定期点検を行い安全確認等を行い必要に応じて改善・修理等を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			特性に応じた支援等ができるように説明を行っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットの報告を提出してもらい、定例会で対応策を周知できるようにしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			法人内での人権擁護研修や虐待防止委員会等で検討し職員に周知している。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○			身体的拘束適正化検討委員会に参加して状況確認や対応策を検討している。